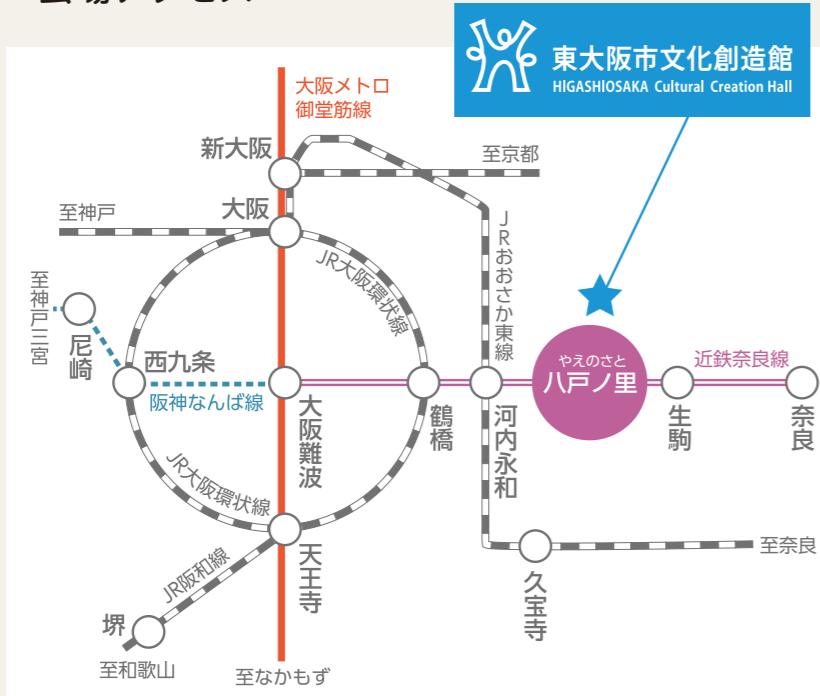


■会場アクセス



参加無料 (資料代500円)

■ 参加申し込み: Google フォーム

<https://forms.gle/L4zDnmHArwLd7nxA6>

* ライブ配信の予定はありません

■ お問い合わせ: 072-968-7151 (創思苑 担当: 福岡)

＼参加申し込み／



キリン福祉財団
キリン・福祉のちから開拓事業

しょうがい×せんきょ×ことば

バリアフリーな選挙参加と社会参加を推進するための
シンポジウムとワークショップ



とき: 2026年2月26日(木曜日)
ばしょ: 東大阪市文化創造館1F 多目的室

選挙権は満18歳以上のすべての国民に付与される権利です。

しかし、障害者の現状に目を向けると、投票したくても、投票できない人たちがまだたくさんいます。障害の有無にかかわらず、すべての国民が参加できる真の意味で「ユニバーサル」な選挙を実現するために、わたしたちは今、何をなすべきでしょうか。

この問いに答えるために、わたしたちはこのシンポジウムとワークショップを企画しました。

障害のある当事者や障害者支援に携わる方々はもとより、「バリア」のない開かれた社会を目指す多くの人々にご参集いただき、ともに未来へつながる方策を考えたいと思います。

主催: 「知的な障がいのある人たちとやさしく選挙を学ぶ集いプロジェクト」推進委員会

共催: 社会福祉法人創思苑、社会福祉法人ぶくぶく福祉会

社会福祉法人草の根共生会、特定非営利活動法人ぱあとなあ

後援: 東大阪市、ピープルファーストジャパン、全国手をつなぐ育成会連合会

日本障害者協議会、障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク

第1部

シンポジウム

SYMPORIUM

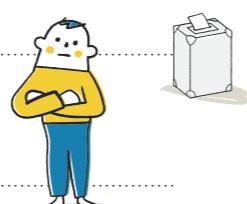


シンポジウムでは、ゲストスピーカーをお招きし、障害者を取り囲むバリアの現状とそのバリアを打ち破り、障害者の選挙参加を推進しようとする全国の草の根活動の模様についてご講演いただきます。また実際に地域で活動に従事されている当事者や支援者の方々にご登壇いただき、取り組みの詳細をご報告いただきます。

とき：2026年2月26日(木) 午前10時30分～12時40分

内容

- 1 菅谷 泰行（元関西医科大学准教授）
シンポジウムとワークショップのねらい
- 2 薮部 英夫（日本障害者協議会副代表）
障害者の選挙参加を阻む社会的障壁
- 3 杉田 淳（NHK 報道局選挙プロジェクト）
NHK「みんなの選挙」について
- 4 林 淑美（社会福祉法人創思苑 理事長）
活動に参加する当事者と支援者
「知的な障がいのある人たちとやさしく選挙を学ぶ集い」プロジェクト
- 5 来場者との意見交換、質疑応答



第2部

ワークショップ

WORKSHOP



—「やさしいことば」の考え方とつくり方 —

ワークショップでは、これまでに多くのメディアで取り上げられ、大きな反響を呼んだ選挙学習小辞典『せんきょのことば』の編纂に携われた菅谷氏に講師を務めていただき、豊富な具体例を交えながら、知的障害者にとってわかりやすい文章をつくるためのヒントを教えていただきます。

とき：2026年2月26日(木) 午後1時30分～4時00分

講師・協力者

- 菅谷 泰行（元関西医科大学准教授）
「やさしいことば」の活動に参加する当事者



内容

- 1 イントロダクション：
「やさしいことば」の歴史と定義
- 2 「やさしいことば」の
考え方とつくり方
- 3 当事者を交えての
「やさしいことば」の実践練習
- 4 振り返り～きょうの経験をこれからどう活かすか～

